

Vフック・eフック・Vベルフック・Vフックフラット 外れ止め金具交換要領書

(例:Vフック)

準備して頂く物



交換部品一式



ハンマー



スプリングピンが通過出来る台等



ピンポンチ

①

・その他、固定出来る台(バイス等)のような物があれば、用意してください。

推奨するピンポンチの径(mm)	備考	
0.32t用		
0.63t用	φ4～φ4.8	eフックと共通 吊り環の内径がφ25です。
1.25t用(旧型)		
1.25t用	φ5～φ5.8	eフックと共通
2t用		
3.2t用	φ7～φ7.8	
5t用		

取り外し

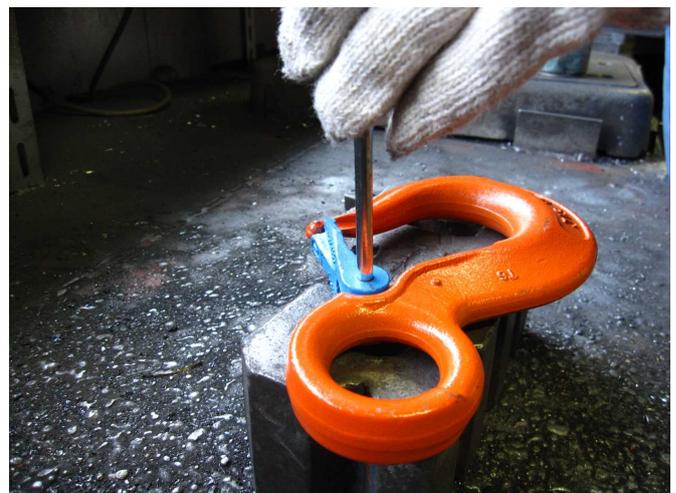
ピンポンチ等で、現在付いている外れ止め金具とスプリングピンとばねを取り外します。

スプリングピンが下側に抜けますので、穴のあいた物か、隙間のある台をご利用ください。

②

注意

叩き方が強すぎると、外れ止め金具が変形する恐れがあります。



仮組み

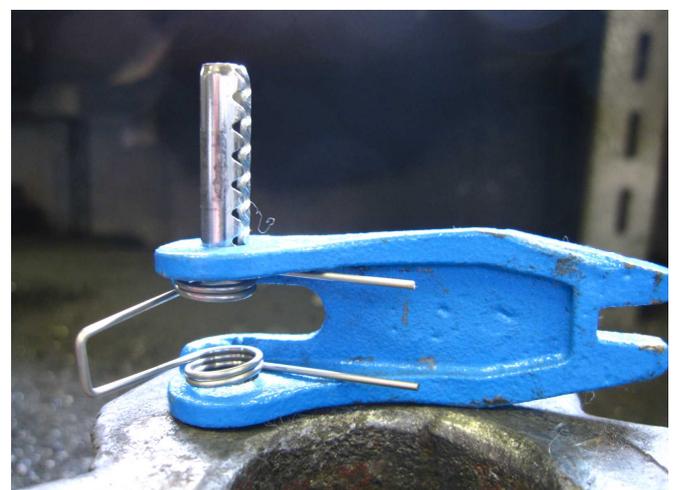
新しい外れ止め金具の片側にスプリングピンを入れ、外れ止め金具の内側にばねを入れます。

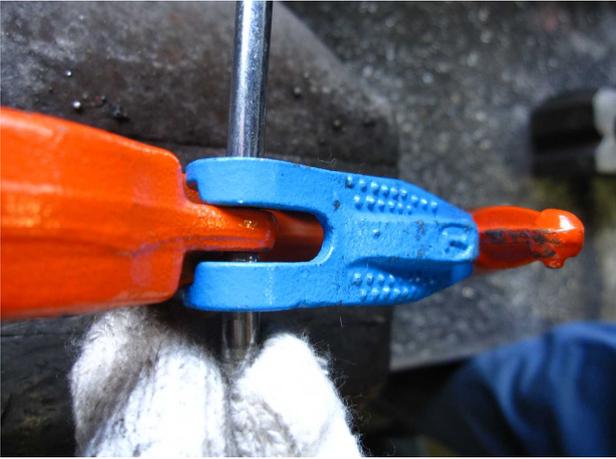
ハンマーで軽くスプリングピンを叩いてみて、入りにくい時は、スプリングピンの向きを反対にしてみてください。

③

注意

叩き方が強すぎると、外れ止め金具が変形する恐れがあります。



<p>フックへの仮組み</p> <p>ピンポンチ等を反対側から挿入し、ばねが外れないように注意しながら、フック本体に取付ます。</p> <p>④ ばねが反発する状態で、外れ止め金具の先端がフックの先端の内側に掛る状態にして、フック本体の穴にピンポンチ等の位置を合わせます。ピンポンチ等は、スプリングピンに当たるまで挿入してください。</p>	
<p>スプリングピンの挿入</p> <p>ピンポンチ等をスプリングピンに当てたまま、ハンマーでスプリングピンを叩きこみます。</p> <p>⑤ ばねが噛みこまないよう、注意してハンマーで叩いてください。</p> <p>注意 叩き方が強すぎると、外れ止め金具が変形する恐れがあります。</p>	
<p>作動確認</p> <p>スプリングピンが外れ止め金具の反対側から1mm程度突き出した事を確認したら、外れ止め金具を数回動かして作動チェックをしてください。</p> <p>⑥ スプリングピンの突き出し量は、左右均等になるよう調整してください。</p>	
<p>完成</p> <p>防錆・潤滑のため、作動部への注油をお勧めします。</p> <p>⑦</p>	